

(毎月1日発行、創刊号平成23年4月11日)



復興ニュース

168号
2018年
4月1日

被災者生きがい支援事業「手芸講習」 延 1,107 回開催 8,471 名参加



夢ネット大船渡が震災の8月から仮設住宅パトロールを開始し、主婦の皆様から布も針も糸も全部流したので支援出来ないかと相談を受けました。

全国へ手芸材料の支援をネットで呼びかけたところ、びっくりするほど多くの方から贈って頂きました。

当時夢ネット大船渡が発行してしまっていた情報誌「みらい」や気仙市民復興連絡会発行の「復興ニュース」へ記載し、要望者を募集しましたところ、200名以上の方から連絡ありお届けしました。

手芸品を

届けたことや県外の団体が仮設住宅を訪問し手芸を教えたことなどが縁となって、平成24年4月から仮設住宅での手芸講習が始まりました。この間中央共同募金会やジャパン・プラットフォーム外多くの団体から助成を受けました。

また手芸材料の支援を受けて手芸講習を続けてきた結果、平成29年度で延1,107回の開催、8,471名の参加者となりました。



開催年度	延開催回数	延参加者数
24年度	61	627
25年度	130	1,022
26年度	155	1,283
27年度	249	1,675
28年度	284	2,073
29年度	228	1,781
合計	1,107	8,471

平成29年度各地の手芸講習を指導頂きました方は、大船渡市は千葉房子さん、森ヨシ子さん、菊地江巴子さん、木川田ヤチミさん、菊地綾子さん、矢野トミ子さん、陸前高田市・住田町は、千葉ミチ子さん、村上ミキ子さんでした。千葉ミチ子さんと村上ミキ子さんには、平成23年8月から夢ネット大船渡の事業へ関わって頂き7年間本当にご苦労様でした。

手芸講習参加者の皆様から今後も続けて頂きたいとの要望もありましたが、NPO法人夢ネット大船渡は3月31日を持って清算事務へ移行する方針であり、継続するにはこれまで関わった職員が社会貢献活動として行う以外に出来ないとの判断であります。陸前高田市内2カ所、大船渡市内1カ所の3カ所で新たに手芸講習を始めることにしました。



NPO法人夢ネット大船渡 12年間の活動に幕く 4月から任意団体として再出発



2006年(H18年)12月岩手県知事から認証され、法務局へ登記し特定非営利活動法人夢ネット大船渡がスタートいたしました。

夢ネット大船渡の目的は、気仙地域の活性化へアイデアを探し出しその実現とNPO中間支援組織として発足致しました。

気仙地域内でいろいろの社会貢献団体が活動を行うことにより、気仙の活性化が図られると夢を膨らましてのスタートでした。

奇想天外の地域おこしアイデアを求めて「ホラ吹き大会」を開催しました。NPO中間支援活動では、市民活動団体の調査による課題結果を行政と共に解決する対策、講演会や市民活動フォーラムや市民活動まつりなどの開催。夢ネット大船渡のホームページへ各団体紹介掲載など震災前の市民活動の底上げへ努力して参りました。

平成23年3月の東日本大震災が発生し、震災後の夢ネット大船渡の活動については、皆様ご承知のとおりです。

新しい業務の創生が出来ず、また人材難と財政難から事業の継続は出来ないと判断しました。5月の総会で夢ネット大船渡の解散を決議し、清算業務へ移行する予定で進んで参ります。

4月からは任意団体の夢ネット大船渡を新たに発足し、NPO法人として行って来ました事業は縮小し、これまでの交流あった県内外の団体とのお付き合いを行います。

また、夢ネット大船渡がお世話して参りましたマジックの会(AMC大船渡)、駅からウォーク(ふれあいウォキングの会)、三鉄沿線花いっぱい事業(三鉄沿線花プロジェクト)、パソコン教室、つばき手芸サークルなど、これらの団体と「夢ネットグループ(仮称)」として楽しく行って参りますので、今後ともよろしくご指導をお願いいたします。

事務所は6月まで継続し、6月後半からの連絡先は下記とします。

現在の事務所 0192-47-3271 大船渡市盛町字内ノ目 14-15 NPO法人夢ネット大船渡

6月後半以降 0192-26-5374 大船渡市大船渡町字地ノ森 40-8

岩城恭治方、夢ネット大船渡

落語家 桂枝太郎師匠 前座にマジックを披露 日頃市寄席 被災地に笑い



夢ネット大船渡は3月18日(日)午後、日頃市地区公民館を会場に中央で大活躍の落語家桂枝太郎師匠を呼んで、日頃市寄席(ひごろよいいち)を開催しました。

この日頃市寄席開催は、大船渡市教育委員会・日頃市地区公

民館・日頃市中学校PTA・東海新報社の後援を頂きました。特にも日頃市地区公民館様には、チラシの町内全戸配布から会場づくりなど大変お世話になりましたこと心から感謝申し上げます。

桂枝太郎師匠には、何度も被災地へボランティアで落語を披露して頂き、被災者を元気にして頂きました。

ご寄付頂きました日頃市中学校生徒会や多くの支援者に心から感謝いたします。



駅からウォーク 4月21日(日)

唐丹 本郷桜並木 今年は満開か



駅からウォークでは、4月は毎年唐丹町の本郷桜並木を見物兼ねて行って参りました。昨年は4月の第3土曜日は15日でした。桜がわずかに咲いただけでつぼみの桜並木でした。

本郷に桜並木は、現在の天皇誕生を祝い、昭和津波の復興を願って昭和9年に植えたさくら並木です。

事前に日時を決めるため、なかなか満開の年はありませんが、今年には満開が期待できるのではと思っています。

多くの方々の参加を呼び掛けております。希望者は当日集合時間までにお集まりください。

実施日 平成30年4月21日(日)

集合 三鉄盛駅へ 午前8時30分 参加費 900円 距離:往復約7km

出発 盛駅発9:13⇒唐丹駅着9:55 準備体操後出発10:10 ⇒ 小白浜商店街 ⇒ 盛巖寺 ⇒ 小白浜港 ⇒ さくらトンネル ⇒ 本郷桜並木 ⇒ 星座石 ⇒ 桜並木で昼食 ⇒ 小白浜港で休憩 ⇒ 唐丹駅着 14:20 唐丹駅発 14:36⇒盛駅着 15:18

三陸町甫嶺 「ホレイ花公園」づくり

4月1日 さくら苗木20本植樹



一昨年夢ネット大船渡は、甫嶺地区まちづくり委員会と一緒に、甫嶺駅の海側被災地へ花を植え、四季折々に花を楽しめる地域をつくり、三鉄乗客からも喜んで頂けるように「三鉄沿線花いっぱい事業」を行って参りました。

昨年甫嶺まちづくり委員会から、桜苗木20本ほど寄贈してくれる団体が無いものと問合せがありました。知人を通して「NPO法人さくら並木ネットワーク」を紹介して頂き、お願いしましたところ快く承諾して頂き、4月1日の植樹となりました。

さくら並木ネットワーク東北担当の

吉武さんが、3月28日事前準備にお出で頂き、20本の内の大きな苗木3本と石柱を持参し段取りしました。

また、昨年10月に植えたスイセンの花が咲き出しています。さらに菜の花も咲き出し4月20日頃には、ホレイ花公園として楽しい場所となりそうです。



マジック講習はじめます

夢ネット大船渡が社会貢献活動参加者を増やすために「マジック講習会」を行い、その受講者によって「アマチュアマジシャンズクラブ大船渡」が結成され、以来1年間に30回ほどのボランティア公演を行って来ました。

会員も少ないことから、平成30年も新会員を募集し、マジック講習を行う予定であります。

講習会は5月から毎月1回、講師を迎えて開催します。募集定員20名として、4月から募集しますので関心のある方はご連絡ください。

連絡先 岩城恭治(090-2278-9703)



3. 1 1 被災地を訪問

一般社団法人元気人間製造研究所(森重子理事長)一行

平成23年11月に最初の支援に訪問し、今回が7回目の団体訪問の大阪の元気人間製造研究所(森重子理事長)の一行8名が気仙へ、10日の夜は大船渡温泉へ宿泊し、これまで交流合った夢ネット大船渡の方々と歓迎交流会を開きました。



小友地蔵尊

翌日11日の最初の訪問は陸前高田市小友町の小友地蔵尊です。小友地蔵尊は高台に慰霊台を置いて月命日ごとに地元の方々がお祈りしていたのを見た、夢ネット大船渡の会員が元気人間製造研究所が持参したお地蔵様を置くように願って設置されました。それを中尊寺様が見てお地蔵様の台座から上屋まで設置し現在の立派な祈りの場所となりました。

蔵ハウス地蔵尊

次に大船渡市盛町の蔵ハウスへ設置していますお地蔵様に、蔵ハウスでは山崎会長らの出迎えを受けてお地蔵様を参拝しました。このお地蔵様へ着せている着物は、入居者の方が作ったものでした。



蔵ハウスではコーヒー接待を受ける

大船渡市追悼式へ

大船渡市の追悼式へリアスホール、訪問したのが午後2時30分頃と開会式前、次の訪問先の約束もあり会場内からご冥福を祈って次へ移動しました。



ふれあい地蔵尊

平山睦子さんが管理しています大船渡町野々田のふれあい地蔵尊へ、かわいいお地蔵さんに皆で手を合わせました。

この場所から大阪へネット配信する予定でしたが、電波事業が悪く出来かねました。

末音崎地蔵尊

今日の最後は、三陸町越喜来の末音崎地蔵尊へ、このお地蔵様は昨年3月まで三鉄盛駅待合室へ置いていた地蔵様です。夢ネット大船渡の運営が終わり、新しい設置場所として片山さんのご協力を得て設置しました。

4ヵ所のお地蔵さんを回りましたが、この外に5ヵ所に設置し全部で9地蔵様を大阪元気人間製造研究所の皆様が、被災地へ祈る場所としてお地蔵さんを設置して頂きました。

末音崎地蔵尊をお参り後三陸町崎浜の民宿へ泊り、夜は末音崎湾望台を中心に行ったライトアップにも参加しました。



釜石鉄の歴史館

翌12日は、吉浜の津波記念石を見て、釜石市の鉄の歴史館を見学し、釜石駅前の復興の鐘を鳴らして大阪へ帰って行きました。大阪の皆さんご苦労様でした。

案内を夢ネット大船渡の岩城が行いました。